

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	彩浜館管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課:	商工観光課	電話番号(内線):	572
記入者情報	所属長:	米湊 誠二	担当責任者:	宮田 哲二
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	市民及び一般			
根拠法令等	伊予市彩濱館条例			
事業の目的	住民の福祉と利便に供するために市民が有効に活用を行う			
事業の内容	施設の管理運営、貸し館業務、ロビーでの展示活動			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	老朽化による施設・設備の修繕箇所については、順次補修等を行う。また、観光パンフレット等による施設のPRを行う。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	7,704	6,119	2,530	5,664
	人件費	1,199	1,220	650	1,220
	合計	0	7,339	3,180	6,884
人件費 内訳	人工数	0.15	0.15	0.08	0.15
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,220	650	1,220
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	8,903	7,339	3,180	6,884

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
施設の利用回数(人数)	回(人)	132(4050)	130(5000)	69(2426)	130(4518)
ロビー展	回	10	10	2	5

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		5,800	5,700	5,800	5,700	5,800

成果指標				
成果指標	伊予市の観光施設としてまた地域の集会施設として効果的利用を行い、利用状況をもって成果指数とする。			
指標設定の考え方	当施設の歴史的な背景をアピールすることによって郡中町並みへの導線をつくりながら、当施設の利用数を増加させる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	130(5000)	130(5000)	140(5000)	0
実績	132(4050)	130(4518)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成元年改築以降、経年劣化し、修繕箇所が増えてきているので、施設・設備の点検を随時行い、早め早めの対応していく必要がある。また、歴史的観光施設として、市内外にPRすることにより集客向上を図り、施設の有効活用に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度の市民会館の取り壊しに伴い、本施設も有効に利用されるように各施設間との連携をとりながら、市民への利用促進を図りたい。しかしながら、施設がすべて畳の部屋であるために、高齢者にとっては利用に支障を来す面もあり、利用者や利用方法などについての検討も必要である。また、ギャラリーも定期的に開催しているが、毎年固定した団体の利用となっているので、新規団体の開拓をはじめ、従来の依頼先にも展示内容の検討や方法についての協議を行い変化を求めたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題